

国際交流員ザブリーナ・リンの「コラム」

結婚式前の習慣



結婚するなら皿を割る!? ドイツの結婚

天気が良くなり、暑くなつてくると、ドイツでは結婚式が増えます。

日本では、欧米の雰囲気似せて教会で結婚式をしたりしますが、結婚式に関する習慣や伝統まではわからなさそうです。この間、初めて日本式の結婚式にお呼ばれし、明治神宮で素晴らしい雰囲気体験させていただきました。とても楽しかったですが、神道の結婚式は、ドイツの結婚式と全然違います。今回はドイツの結婚式に関連する習慣をお伝えたいと思います。

恋人の両親に

「ご挨拶」しにいかなくてもいい?」

昔は挨拶に行く習慣がありました。今でも相手の両親に挨拶に行く人は少なくないと思いますが、しなくても構わないと思う人も結構います。あと、昔は、結婚式にかかる費用は新婦側が支払ったようですが、今はもちろんそんな義務はなく、夫婦二人で結婚式の費用を支払うことが多いです。もちろん家族からの援助もあると思います。

また、日本と違ってドイツの場合は、恋人と付き合い始めると、お互

いに両親を紹介します。それは決して「この人が将来の結婚相手です」と親に伝える意味ではなく、これが普通です。親は自分の子供の恋人を知りたいと思うし、相手も恋人の家族を知りたいと思うでしょう。この時に、親が結婚相手を知ることができるので、プロポーズの前に改めて両親に挨拶をする必要があります。

結婚式の独身パーティー

結婚式前には二つの習慣があります。一つはポルターアーベント (Polterabend)。これは、結婚式の前に、花嫁の家の前で古い陶器やお皿を割る習慣です。人々がお皿を家の前で粉々に割り、花嫁・花婿となる若いカップルが掃除し続けます。陶器を割った時の煩い音に驚いてお化けが逃げるといふ昔からの言い伝えから、お祓いの意味があります。



ただし、この時にグラスを割ってしまうと不幸になると言われています。もう一つはユングゲゼレンアブ

シード (Junggesellenabschied)

です。これのやり方はいろいろありますが、基本的には、結婚式を行う前にもう一度花嫁も花婿も同性だけで遊びます。気の合う友達と変装したまま飲み、道行く人に声をかけ、ゲーム等しながら、楽しい時間を過ごします。朝から夜遅くまでやるので、大体皆さんひどく酔っています。要するに、結婚する前のフリー最後の夜を目いっぱい楽しむわけです。ドイツでの理想的な結婚といえば、結婚相手を愛し、誠実でいることですから、結婚してからは、水商売のところには行かないはず。ちなみに、ドイツにはキャバクラやホストクラブのようなものはありません。話をしたければ、奥さんと旦那さん、家族や友達と話しますよ。

結婚前夜は別々に

結婚前夜は花嫁、花婿は一緒に過ごす方がよいと言われています。また、できれば花嫁のドレス姿は結婚式まで見ないのが望ましいです。いかがだったでしょうか。今度は結婚式当日、つまりパーティーでの習慣についてもお話しますね！これも日本とは違います。ちなみに、ドイツでは共同生活をするカップルも多いです。結婚しなくても、実質夫婦のような生活をし、育児をする。これは全然問題ないのです。

国際交流員リンの

「びんぐらん箱」第4回

特別展覧会

at グリムの森フェスティバル

変革に挑むドイツ、ドイツのエネルギースフト

平成23年3月11日に発生した福島原発事故の後、日本においても原子力やエネルギーの問題についての議論が活発になっています。ドイツのエネルギー政策に関する質問が非常に多く寄せられているので、ドイツ連邦共和国総領事館の協力のもと、環境先進国と言われるドイツにおけるエネルギースフトの変革を紹介するパネル展を開催します。脱原発や再生エネルギーの利用促進に向けて、放射性廃棄物の処理、環境にやさしいエネルギーへの転換、そのための当市、ドイツ人の考え方などが22枚のパネルによって理解できるようになっています。日本、そして全世界にとって将来最も重要な問題となるエネルギー政策を考えるための絶好の機会となるでしょう。このパネル展は一般の方を対象に行われます。ぜひご来場ください！

日時

8月18日(土) 26日(日)

午前10時～午後6時

場所

グリムの館

問い合わせ先

生活安全課 ☎(40)515155

✉sisa.shimotsuke@gmail.com